

令和4年度 公益活動報告



- 地域づくり事業
- 環境の整備保全事業
- 防災活動事業
- 広報事業
- 研究会、講演会事業
- 調査、研究事業
- 技術開発事業



おうちで災とSeeing 360°空間が楽しめる

VRでバーチャルツアー

スマートフォンでご覧いただく場合は、画面を通常の1眼から立体視できる2眼に切り替え、さらに、市販のVRゴーグルを使用することで、よりリアルな旅行気分を楽しめます。



市販のVRゴーグルの例

VRゴーグルによる閲覧については、ご判断をお願いします。

●立体視(2眼)への切り替え



画面右下の



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 中部地域づくり協会の SDGsへの取り組み

公益、収益事業を通じて、安全で災害に強く、持続可能な社会の構築等といった社会課題に取り組み、SDGsの達成に貢献すること等が中部地域づくり協会としての社会的責任を果たす活動そのものであり、一人ひとりがこうした高い意識をもって日々の業務に取り組んでいます。



1 地域づくりに関する事業



地域づくり活動

1 公共事業用地補償に関する相談、助言活動

公共事業の用地取得に伴う補償関係に関する相談窓口を設置し、豊富な経験と高度な知識を有する者による相談・助言、講師派遣を行った。

実施日 通年
実施内容 講師派遣 2件
研修参加者 123名



▲ 用地補償に関する相談、助言活動、講師派遣

2 レストイン長島(桑名支所)

国道23号を走行する運転者等が休憩等のために利用するレストイン長島(三重県)の施設を維持する活動を行った。

実施日 通年
実施内容 トイレ等の清掃・維持を実施



▲ レストイン長島

地域づくり支援活動

1 NPO助成

地域づくり、環境保全、防災活動等を行うNPO団体を公募し、助成を行った。

1 NPO法人 明るい未来ある地域づくりを進める会

「砂防ジュニアマイスター養成講座」
小中学生を対象に座学、現地見学会等を通じて砂防事業の重要性を学ぶ砂防ジュニアマイスター養成講座と一般市民を対象とした「市之倉防災フェスティバル」を開催し、河川災害、土砂災害について、防災意識の向上を図った。

※令和5年度の募集よりNPO助成は地域づくり活動助成へ統合しました。



▲ 砂防ジュニアマイスター養成講座

2 地域づくり活動助成

環境・防災・地域づくり活動に取り組む活動を公募し、助成を行った。

1 生田川マモロード会植樹祭

多治見市内を流れる生田川の遊歩道に樹木や草花を植える植樹祭を開催し、環境整備、美化を啓発する活動

2 海の大切さ・よさを知る体験的環境学習 ～海の世界を学ぶ会

渥美半島とその周辺で、海の生き物や環境などを学習する体験会を開催し、環境問題を考える活動



▲ 海の大切さ・よさを知る体験的環境学習
～海の世界を学ぶ会

3 四ツ目川の河川流域の環境整備

中津川市の四ツ目川遊砂工の伐採・除草作業を中津川市民の参加により行い、自然環境保護と美化活動

4 中山道新作狂言

中山道を題材とした新作狂言を上演し、子どもを中心とした地域の人に宿場町に誇りをもってもらい、守る大切さを伝える活動

5 復活した大谷川源流のホタルのための環境作り

春日井市東部を流れる大谷川において、市民参加により花壇へ花植え、ヤマブキの植樹を行い、環境再生を啓発する活動

6 講演会「災害から生き残るために」

静岡市清水区において災害をテーマにした講演会を開催し、防災、減災の意識を高める活動



▲ 復活した大谷川源流のホタルのための環境作り



▲ 講演会「災害から生き残るために」

3 中部の未来創造大賞

愛知・岐阜・三重・静岡・長野の各県において、住民、企業、学校、行政等が取り組んでいる地域づくり活動等を顕彰し、「多様な主体による協働」の推進を目的とした第23回中部の未来創造大賞を運営・実施した。

実施日

募集期間 R4.6.7~R4.8.31
表彰式 R5.2.20

実施内容

地域づくり活動、防災活動等に33件の応募。
大賞、優秀賞等の6件を表彰した。



▲ 第23回中部の未来創造大賞
「大賞：世代をつなぐ鈴鹿川流域の取組み」
魚と子どものネットワーク

環境再生活動

1 伊勢湾流域圏再生ネットワーク

伊勢湾流域圏の環境再生に向け、行政機関、研究者との連携、NPO等の市民団体の活動を支援するための取り組みを行った。

会員数 50団体

実施日・実施内容
R4.7.1~R4.8.31
伊勢湾流域圏一斉モニタリング
(水質調査)
R4.9.17
環境デーなごや2022
通年
伊勢湾ネットホームページによる
情報発信



▲ 環境デーなごや2022

2 浜松かわ・みちボランティアクラブ
(浜松支所)

静岡県西部地区で、準絶滅危惧種のミヤマシジミ(蝶)保護のために河川敷の環境整備及び海岸、河川の清掃・美化活動を行った。

実施日
R4.5.8 海岸美化活動
R4.11.10 環境美化活動
R4.11.20 河川美化活動

実施内容
海岸・河川の美化活動
参加延人員 42名



▲ 浜松かわ・みちボランティアクラブ

3 木曽三川・クリーンサポーター(岐阜支所)

岐阜市内に所在する地域のボランティア団体による環境保全活動(木曽三川流域の河川清掃、美化等)と併せた活動を行った。

実施日
R4.4.17 河川美化活動(長良川)
R4.10.23 河川美化活動(長良川)
R5.2.9 総会と意見交換会

実施内容
河川敷の清掃活動
参加延人員 49名
意見交換会 25名



▲ 木曽三川・クリーンサポーター

4 多治見さぼう・みちボランティアクラブ
(多治見支所)

岐阜県東濃地方において、土砂災害防止及び道路の美化活動を行った。

実施日
R4.6.10・10.1・12.3
瑞浪地区国道19号沿い
歩道清掃
R4.6.18・8.20・10.15・12.17
多治見地区国道19号沿い
歩道清掃
R4.8.26 砂防講演会に参加
R5.1.25
砂防施設点検アドバイザー会議

実施内容
国道沿い歩道の清掃活動
参加延人員 42名
砂防講演会
参加人員 4名
砂防施設点検アドバイザー会議
参加人員 2名



▲ 多治見さぼう・みちボランティアクラブ

防災支援活動

① 防災エキスパート

災害の発生に際して公共土木施設の被災情報を収集して防災機関へ報告等を行うのが防災エキスパート活動で、着実な実施のために各地区毎に重要水防箇所合同巡視等の活動を行った。

実施日・実施内容

R4.5.25
地区代表・世話役会議(書面開催)

R4.6.8
長島ダム防災エキスパート意見交換会

R4.4.18・20・21
浜松河川国道事務所管内の重要水防箇所合同巡視

R4.5.22
天竜川上流総合水防演習への参加

R4.5.23・25
沼津河川国道管内の重要水防箇所合同河川巡視

R4.6.6・7・8・14
三重河川国道管内の重要水防箇所合同巡視



▲ 防災エキスパート(重要水防箇所合同巡視)



▲ 防災エキスパート(水防演習)

② 河川等災害アドバイザー

中部地方の直轄の河川、海岸、砂防・ダム等の施設について、大規模災害発生時に、災害応急対策のアドバイザーとして支援活動を行う。

実施日
災害による出勤実績はなかった。

学習支援、体験活動

① ちびっこカメラマン

身近にある川や道路に親しみ、そうした社会資本の大切さを感じてもらうことを目的に、小中学生による川と道のフォトコンテストを実施した。

実施日 募集期間 R4.5.11 ~ R4.9.30
審査会 R4.10.20
表彰 R4.12.12

実施内容 小中学生を対象とした写真コンクール
応募総数 85点



川部門・最優秀賞



道部門・最優秀賞

② 水郷資料館等の「木曾三川水郷カード」及び「広報マップ」作成・配布(桑名支所)

木曾三川下流域にある治水、砂防、防災等に関する資料の展示施設と道の駅の「PRカード」を作成・配布して防災、地域づくりの啓発活動を行った。

実施日 R4.4~R5.3
広報マップ配布
R4.10.1~R5.2.28
水郷カード配布

実施内容 「木曾三川水郷カード」と「広報マップ」を作成し来館者へ配布



▲ 木曾三川水郷カード

3 防災学習支援

将来を担う若い世代に「浸水体感VR」や「浸水疑似体験映像」等を活用して、過去の災害と新たな災害に対する備えを学ぶことにより、「守られる人」から「守る人」への防災教育を視野に入れた防災講座を実施した。

実施日・実施場所

R4.5.14・R5.1.25	岐阜市立岩野田小学校
R4.6.4	岐阜市立徹明さくら小学校
R4.6.7	関市立関商工高等学校
R4.6.8	山県市立高富中学校
R4.6.10	大垣市立東中学校
R4.6.10	安八町立登籠中学校
R4.6.11	郡上市立相生小学校
R4.6.15・16・22・23	愛知県立一宮工科高等学校
R4.6.29	郡上市立吉田小学校
R4.6.30	岐阜市立合渡小学校
R4.7.5	岐阜県立揖斐高等学校
R4.7.7	名古屋市立守山西中学校
R4.7.8	大野町立中小学校
R4.7.14	岐阜県立岐阜高等学校
R4.8.24	羽島市立桑原学園
R4.9.2	愛知県立豊橋工科高等学校
R4.9.8	神戸町立下宮小学校
R4.10.1	岐阜市立梅林中学校
R4.10.19	岐阜県立可児工業高等学校
R4.11.2	郡上市立八幡小学校
R4.11.9	岐阜県立岐阜総合学園高等学校
R4.12.15	岐阜県立高山工業高等学校
R4.12.22	本巣市立根尾学園
R5.1.28	愛知県立豊田西高等学校・ 愛知県立豊田東高等学校
R5.2.2	愛知県立津島北高等学校
R5.3.22	中津川市立阿木中学校

26校 受講人数 約1,700名



▲ 防災講座(神戸町立下宮小学校)



▲ 防災講座(山県市立高富中学校)



▲ 防災講座(愛知県立豊田西高校・豊田東高校)

～生徒さんの感想(抜粋)～

- VRで水害の恐さを知って、「災害が起きた」からではなく、「災害が起きる前」に1分1秒でも早く避難することが大事だとわかりました。
- 自分の命は自分で守るという言葉が心に残り、水害が起きた時しっかり逃げられるように、避難場所やハザードマップの確認・非常食の準備など、備えをしなければならぬと思いました。
- 自分の命も大切な人の命も守るために、どこに避難するか何を持っていくか家族で話し合いたいです。
- みんなが助かるように周りの人に声をかけたりして、「守られる人」から「守る人」になりたいです。

4 ダイバーシティ(多様性)に向けた取組み

障がいのある方や外国人の方への支援として、災害記録集の点字版の作成や「浸水疑似体験映像」の外国語版等を活用して、過去の災害と新たな災害に対する備えを学ぶことにて、「自分の命は自分で守る」ための防災講座を実施した。

実施日・実施場所

- R4.7.31 外国人日本語教室(主催：大垣市)
[大垣市スイトピアセンター]
- R4.8.6 外国人防災リーダー養成講座(主催：豊橋市)
[豊橋市役所]
- R4.8.31 岐阜県立岐阜盲学校
- R4.9.6 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校
- R5.2.10 愛知県立名古屋盲学校

- 「自然に学び、自然に備える 近年の豪雨災害記録集」の点字版を作成し、中部地方の盲学校8校・点字図書館等10施設に寄贈した。
- ダイバーシティ(多様性)を意識し、浸水疑似体験映像の外国語版として、テロップをポルトガル語・英語に翻訳し、YouTubeで公開した。(翻訳協力：大垣市)



▲ 豊橋市 外国人防災リーダー養成講座(豊橋市役所)



▲ 防災講座(岐阜県立岐阜盲学校)



▲ 防災講座(岐阜県立岐阜本巣特別支援学校)



▲ 防災講座(愛知県立名古屋盲学校)



▲ 岐阜県立岐阜盲学校で点字版受領式



▲ 浸水疑似体験映像 外国語版

広報、啓発活動

① 木曽三川交流レガッタ

長良川国際レガッタコースを会場に、木曽三川の豊かな河川空間の活用とボート競技を通じて青少年の健全な育成、流域市町村の発展・活性化に寄与するため「地域交流レガッタ競技会」を地元自治体等と共に実施した。

実施日 R4.5.8
第27回木曽三川交流レガッタ
R4.9.11
第27回デ・レーケ交流レガッタ

実施内容 参加クルー数
5月 31クルー
9月 53クルー



▲ 木曽三川交流レガッタ

② 第24回MAG-CUP少年サッカー交流大会

東海環状自動車道沿線自治体が、地域の連携・交流を深め、東海環状自動車道開通の機運高揚のために行う少年サッカー大会の実施に協力した。

実施日 R4.12.17・18

実施内容 参加チーム 32チーム
(東海環状自動車道通過25市町村)
会場：岐阜県岐阜市
(北西部運動公園他)



▲ 第24回MAG-CUP少年サッカー交流大会

③ 堀川フラワーフェスティバル2022

名古屋市中心街を流れる堀川の錦橋～天王崎橋間を花で飾り付け、市民が堀川に親しむための各種イベントを催すフラワーフェスティバルの実施に協力した。

実施日 R4.5.6～R4.5.21

実施内容 錦橋～納屋橋～天王崎橋
・ハンキングバスケット等の
花飾り付け
・イルミネーションでライトアップ



▲ 堀川フラワーフェスティバル2022

④ 第27回「富士山への手紙・絵コンクール」

富士山を題材とした手紙・絵画のコンクールを通じて、豊かな心を持った人たちが暮らす文化的なまちづくりの輪をひろげるための手紙・絵コンクールの実施に協力した。

実施日 募集期間 R4.7.1～R4.9.12
展示 R4.12.8～R4.12.15
R5.2.18・19
表彰式 R5.2.19

実施内容 富士山を題材とした手紙及び絵画
作品を公募し、優秀作品を展示公開し、表彰
応募総数 6,973点



▲ 第27回「富士山への手紙・絵コンクール」

5 第30回全国川サミットin岡崎

川がもたらす恵みや、川と人との関りを活かしながら、川と共存するまちづくりを進めることを目的とした「全国川サミットin岡崎」の実施に協力した。

実施日 R4.11.4・5

実施内容
 全国川サミット連絡協議会総会
 国土交通省講演
 「災害が激甚化し、老朽化が進行する中での魅力ある川づくり」
 首長サミット
 「河川空間とまち空間の融合」
 パネルディスカッション



▲ 第30回全国川サミットin岡崎

6 令和4年度天竜川上流総合水防演習

洪水被害・高潮被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と、防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による防災体制の確立を図る「天竜川上流総合水防演習」の実施に協力した。

実施日 R4.5.22

実施内容
 訓練参加者 約1,000名



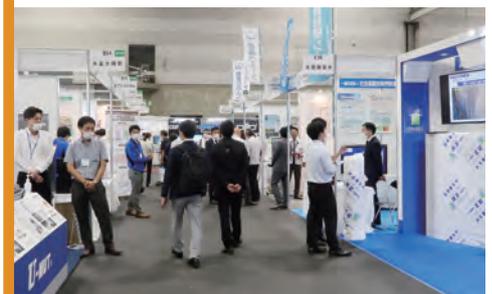
▲ 令和4年度天竜川上流総合水防演習

7 建設技術フェア2022in中部

産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設分野を専攻している学生との交流や一般の方々に建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く紹介する建設技術フェア2022in中部を関係機関とともに実施した。

実施日 R4.10.4・5

実施内容
 展示 326企業・団体
 来場者 16,786名



▲ 建設技術フェア2022in中部

8 防災啓発資料作成

- 「自然に学び、自然に備える 近年の豪雨災害記録集」を公共機関等に配布するとともに各種イベント等で配布した。
- 大雨への事前の備えと早期避難を促す「大雨にソナエルピクト」をマグネットに加工し、各種イベント等で配付した。
- 「自分の命を自分で守るために(-令和4年版-)」を(公社)日本河川協会と共同で作成し、公共機関等に配布、河川協会のHPに掲載し防災意識の向上に向けた啓発活動を展開した。

実施内容 防災啓発資料作成・配布



▲ 防災啓発資料

9 多様な機関と連携した防災啓発活動

イベント・防災講座等で「浸水体感VR」や「浸水疑似体験映像」、「大雨にソナエルピクト」等を活用し、防災啓発活動を行った。

実施日・実施場所

R4.5.12~14

名古屋市国際展示場で開催された「名古屋未来環境EXPO2022」に出展



▲ 令和4年度天竜川上流総合水防演習(飯田市川路地先)

R4.5.22

飯田市川路地先(天竜川右岸 天竜川総合学習館上流)において、展示ブースによる防災啓発を行い、参加者全員に防災啓発冊子「自然に学び、自然に備える」を配布した

R4.5.24

大垣市役所において、「浸水VR体験会」を開催



▲ 浸水VR体験会(大垣市役所)

R4.6.5

大垣市立多良小学校で開催された「令和4年度多良地区土砂災害防災訓練(主催：大垣市)」に参加

R4.6.12

飯田文化会館で開催された「三六災害60年シンポジウム(主催：三六災害60年実行委員会)」に協力

R4.6.26

大垣市上石津農村環境改善サブセンターで開催された「令和4年度時山地区防災訓練(主催：大垣市)」に参加



▲ 国土交通Dayイベント(海津市 木曾三川公園)

R4.7.16

海津市木曾三川公園において国土交通省中部地方整備局と共同で「国土交通Dayイベント」を開催



▲ 木曾岬町防災フェア2022(木曾岬町役場)

R4.8.20・21

岐阜県広域防災センターで開催された「防災教育フェア(主催：岐阜県)」において防災講座を実施



▲ 岐阜県 防災教育フェア(岐阜県広域防災センター)

R4.8.22

国土交通省で浜松河川国道事務所の職員と家族を対象として開催された「防災体験会」においてVRによる浸水体験を実施



▲ 豊田市 おぼら防災DAY(豊田市小原交流館)

R4.9.4

木曾岬町役場で開催された「木曾岬町防災フェア2022(主催：木曾岬町)」に参加

R4.9.11

大垣市三城地区センターで開催された「令和4年度三城地区防災訓練(主催：大垣市三城地区自治会)」に参加



▲ 建設技術フェア-2022in中部(名古屋国際展示場)

R4.9.18

豊田市小原交流館で開催された「おぼら防災DAY(主催：豊田市)」に参加

R4.9.25

大垣市民会館で開催された「令和4年度安井地区防災訓練(主催：大垣市安井地区自治会)」に参加

R4.10.4・5

名古屋市国際展示場で開催された建設技術フェア2022に出展し「大雨から大切な命を守る～誰一人取り残さない防災啓発～」と題し、伊勢湾台風のパネル展示、大雨にソナエルピクト、デジタル展示館、あつ森の防災啓発動画の紹介を実施



▲ 第46回春日井まつり(春日井市役所庁舎他)

R4.10.15・16

春日井市役所庁舎及びその周辺で開催された「第46回春日井まつり」に中部大学武田研究室と共同出展し、VRによる浸水体験等を実施

実施日・実施場所

R4.10.29

豊田市藤岡体育センターで開催された「ふじおか防災キャンプ ～47災害を忘れない～(主催：豊田市藤岡支所)」に参加

R4.10.29

愛知県立豊橋工科高等学校の「文化祭」においてVRによる浸水体験を実施

R4.10.30

岐阜県防災交流センターで岐阜市市橋地区の住民を対象に開催された「防災講座(主催：岐阜県)」において浸水体験VRを活用した防災講座を実施

R4.11.4・5

岡崎市桜城橋・図書館交流プラザらで開催された「第30回全国川サミットin岡崎」に参加し、VRによる浸水体験、大雨にソナエルピクトのマグネットの配布を実施

R4.11.5

イオンモール大垣で開催された「令和4年火災予防運動キャンペーン(主催：大垣消防組合)」に参加

R4.11.6

大垣市立北小学校で開催された「おおがき防災フェス2022(主催：大垣市)」に参加

R4.11.10

岐阜県立可児工業高等学校の「文化祭」においてVRによる浸水体験を実施

R4.11.20

名古屋市パロマ瑞穂レクリエーション広場で開催された「瑞穂区民まつり2022」に瑞穂警察署と共同出展し、VRによる浸水体験等を実施

R4.11.25

土岐市立土岐津小学校において先生を対象に「浸水VR体験会」を実施

R5.1.31

名古屋市南生涯学習センターで、令和4年度後期講座「いざという時、わたしたちができること～家で、避難所で、まちで～(全5回開催)」において実験・VRを活用した防災講座を実施

R5.3.13

揖斐川町 道の駅星のふる里ふじはしで開催された「山間部でDX推進!～低軌道周回衛星を活用したインターネット通信 公共事業 初導入!!～」に協力し、VRによる浸水体験を実施

R5.3.14

名古屋市東別院会館で開催された「海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設BCP研修会(主催：愛知医科大学災害医療研究センター)」に参加し、VRによる浸水体験を実施

27回 参加人数 約1,100名



▲ 豊田市 ふじおか防災キャンプ (豊田市藤岡体育センター)



▲ 岐阜県 防災講座 (岐阜県防災交流センター)



▲ 令和4年火災予防運動キャンペーン (イオンモール大垣)



▲ おおがき防災フェス2022 (大垣市立北小学校)



▲ 海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設 BCP研修会(名古屋市 東別院会館)

10 CCKみずほ

当会のCCKみずほ(名古屋市)1階フロアに公共インフラ整備に欠かすことのできない測量機器とその歴史についての展示を行い、学べる場を提供した。

実施日 通年

実施内容 歴史的に貴重な測量機器の展示を行った。



▲ CCKみずほ

第27回防災まちづくり大賞 「消防長官賞」を受賞

～大雨から大切な命を守る!誰一人取り残さない、
逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする防災啓発～

これまで制作した啓発ツールは、浸水疑似体験VR・映像、過去の豪雨災害記録冊子、あつ森を使って作った早期避難啓発動画、昭和の災害の白黒写真をAIでカラーに色付けしたデジタル展示館などたくさんあり、より自分の身近なこととして、自分ごととして考えてもらえるよう、伝える対象にあわせて様々な資料がある。対象者が幅広いのが大きな特徴で、高齢者も、外国人も、障害のある人もいろんな人に情報が届く工夫が細部に施されているとの評価を頂いた。



▲ 第27回防災まちづくり大賞「消防長官賞」を受賞(令和5年2月28日)

令和4年度全建賞 4年連続受賞! 防災啓発でSDGs達成に貢献

～多様な繋がりで「大雨から誰ひとり取り残さない」地域社会を目指して～

若年層や障害者、外国人など含む幅広い層の住民を対象として、VR技術も活用しながら早期避難に向けた意識改革を促した点や、多様な機関等とのつながりを構築し、多くの啓発機会を創出して、多くの人の防災意識の向上を図っている点が評価された。

第17回マニフェスト大賞エリア選抜 ＜東海エリア＞3年連続認定

～大雨から大切な命を守る!誰一人取り残さない、
逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする防災啓発～

『大雨から大切な命を守る』ため、防災意識の向上や早期避難に向けた避難行動の改善を目的として、あらゆる世代、外国人や障害のある人など、より多くの人をターゲットに、大雨から誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて避難を後押しする多様な取り組みが、この度、東海エリア選抜として認定された。



▲ 第17回マニフェスト大賞
エリア選抜＜東海エリア＞認定証
(令和4年11月11日)

キャンペーン活動

① 中津川市「治山・治水の日」関連イベント事業

過去の土砂災害の教訓を風化させることなく、高い防災意識を次世代に引き継ぐため、中津川市内で行われた砂防講演会の実施に協力した。

実施日 R4.8.26

実施内容
砂防講演会
I「気象情報と防災」
II「四ツ目川災害から90年
土砂災害の教訓を後世に伝える」
参加者 200名
災害写真パネル展示



▲ 砂防講演会

1 中部地域づくり講演会

中部地方における地域づくりを支援する取組の一つとして静岡市内と名古屋市内において講演会を開催した。

実施日 R4.9.13 第1回 静岡市
R4.12.5 第2回 名古屋市

実施内容

第1回 「～静岡県下のインフラ事情と防災対策に関する講演会～」

講演 I

「国土強靱化の加速と巨大地震への対応」

講師：中部地方整備局 総括防災調整官 丹羽 俊一 氏

講演 II

「静岡県下のインフラ事情と防災対策」

講師：静岡県 交通基盤部長 太田 博文 氏

講演 III

「東海道由比地区での強靱な国土交通軸の確保のために～大地震(津波)に備えて、東西交通の分断を回避～」

講師：日本プロジェクト産業協議会
国土・未来プロジェクト研究会
由比プロジェクトチームリーダー 松本 伸 氏

講演 IV

「気候変動による豪雨災害へ備える
～治水対策のパラダイムシフトに向けて～」

講師：日本プロジェクト産業協議会
国土・未来プロジェクト研究会
豪雨災害対策ワーキング長 代理 越智 繁雄 氏

参加者 会場聴講者 約150名
Web聴講者 375名

第2回 「～中部圏の将来像と地域づくり～」

講演 I

「令和4年度中部地方整備局の事業概要と次期広域地方計画の進捗状況について」

講師：国土交通省中部地方整備局
企画部長 八尾 光洋 氏

講演 II

「リニア中央新幹線を活かした中部圏の地域づくり」

講師：名古屋大学 教授 森川 高行 氏

講演 III

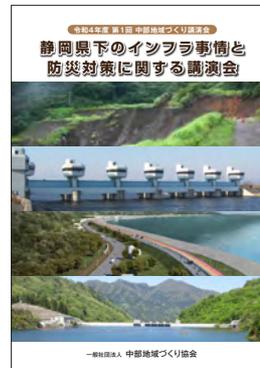
「人口減少時代を生き抜く過疎自治体の挑戦
～ファンづくりから見出す地域経営～」

講師：飛騨市長 都竹 淳也 氏

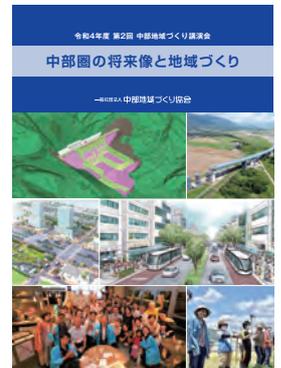
参加者 会場聴講者 94名
Web聴講者 82名



▲ 第1回中部地域づくり講演会



▲ 第1回中部地域づくり講演録



▲ 第2回中部地域づくり講演録



▲ 第2回中部地域づくり講演会

2 道路建設技術講演会

道路建設技術者等に、広く新しい情報の提供し、技術の向上を図るために名古屋市内において行われた講演会の実施に協力した。

実施日 R4.11.10

講演
I 「あらためて今、東日本大震災からの教訓を」
II 「最近の中部地方の気候、降雨状況等について」
III 「道路行政の最近の話題」
参加者 190名



▲ 道路建設技術講演会

地域づくりに関する調査研究活動

1 中部災害アーカイブス

中部の歴史的災害で残された爪痕等に関するアーカイブスや中部地方における近年の豪雨災害に関するページをWebサイトで公開した。

実施日 通年

2 災とSeeing

発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や巨大台風等による風水害、その他の大規模災害に備え、地域の防災力を高めることを目的として、東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター、(株)CBCテレビ、(株)中日新聞社と相互に連携・協力し、啓発活動「災とSeeing」に取り組んだ。

実施日 通年

3 デジタル展示館

DX(デジタルトランスフォーメーション)推進の一環として、バーチャルな空間でパネル展示などを行う「デジタル展示館」を公開した。

昭和30年代を中心に中部地方で発生した大規模災害の白黒写真を、より身近に感じられるよう、自らカラー加工して見ることができる。

実施日 通年

4 中部河川懇談会

河川の整備等に関する諸活動に対して広く提言等を行い、河川整備等の円滑な推進に寄与するための活動

実施日・実施内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員会、懇談会は中止した。



▲「中部災害アーカイブス」Webサイト



▲「災とSeeing」Webページ



▲「デジタル展示館」

5 河川工法伝承研究会

経験工学として培ってきた河川工法を次代に伝承し、新技術・新工法と相まって発展させ、これからの河川事業の円滑な推進に寄与するための活動を行った。

実施日
R4.5~R4.10
堤防決壊シミュレーション
R4.12.15
堤防決壊時の緊急対策に関する
意見交換会の開催
R4.4~R5.3
技術検討会の開催
R4.11.24
現場技術検討会の開催

実施内容
河川工法の分類整備及び研究検討に関する事、河川工法の伝承に関する事、新技術・新工法の提言及び普及に関する事等



▲ 河川工法伝承研究会(堤防決壊シミュレーション)



▲ 河川工法伝承研究会(現場技術検討会)

6 矢作川治水史研究会(豊橋支所)

矢作川流域における災害記録等の資料の建設技術者等への提供及び防災意識の啓発活動を行った。

実施日
通年

実施内容
災害記録の資料収集、収集した古文書等の評価・分析等



▲ 矢作川治水史研究会(矢作橋から下流左岸)

7 中部道路懇談会

道路事業の円滑な推進に寄与するため、道路に関する提言等の諸活動を行った。

実施日
R4.10.25
懇談会の開催
行政支援の実施(委員の派遣)
R4.10.7 岐阜国道事務所
R4.10.24 三重河川国道事務所

実施内容
道路の整備・管理、道路技術等に関する意見交換や提言等を行うとともに、委員を国道事務所に派遣し、道路事業の円滑な推進のための行政支援を実施。



▲ 中部道路懇談会(行政支援)

8 中部用地懇談会

公共用地取得の円滑な推進に寄与するため、用地取得に関する提言等の諸活動を行った。

実施日
R4.6.16
委員会、部会開催
R5.3.9
委員会、部会開催

実施内容
図書等の資料収集、
用地読本の編集・発行



▲ 中部用地懇談会

資料の収集及び展示活動

1 CCK 文庫(業務管理部・業務センター)

中部地方における社会資本整備の歴史、建設技術等に関する資料を収集整理して、広く一般の方々に知識を開放する活動を行った。

実施日
通年

実施内容
図書収集・整理、閲覧・貸出



▲ CCK文庫

2 狩野川文庫(沼津支所)

狩野川流域の人々が流域の歴史、文化、自然環境、建設技術などの学習場所として、資料を収集し展示して知識を開放する活動を行った。

実施日
通年
隔月1回 幹事会

実施内容
流域市町の刊行物調査、
図書収集・整理及び閲覧
狩野川台風のパネル作成、展示



▲ 狩野川文庫

3 天竜川文庫(浜松支所)

天竜川流域の歴史、社会環境、建設技術等に関する資料を収集して知識を開放する活動を行った。

実施日
通年
毎月1回資料整理

実施内容
資料の収集と活用のための
企画・運営、貸出
天竜川散策マップの検討



▲ 天竜川文庫

研究助成活動

中部地方に所在する大学、高等専門学校等に所属する者が行う社会資本の整備・維持管理や防災・減災に関する技術開発などの研究を公募し、研究費の助成を行った。

岐阜工業高等専門学校環境都市工学科（1年間）

無機系ハイブリッド床版防水材の性能検証

1 おうちで災とSeeingの制作

DX(デジタルトランスフォーメーション)推進の一環として、災害にまつわる場所を、家に居ながらバーチャルツアーができる「おうちで災とSeeing」を制作公開した。

実施日 R4.4.~



▲ おうちで災とSeeing

第2回中部DX大賞「敢闘賞」を受賞

～Z世代に伝わる「大雨から大切な命を守る」防災啓発～

「大雨から大切な命を守る」意識が、Z世代や防災への関心が薄い人たちに伝わるよう、デジタル技術を活用しトレンドを意識したコンテンツ、「浸水疑似体験VR」、「浸水疑似体験映像」、「あつ森(ゲームソフト)を活用した啓発動画」、「デジタル展示館」、「災害にまつわる場所を360度空間で楽しめる、おうちで災とSeeing」による防災啓発活動の取り組みが評価された。



▲ 中部DX大賞 敢闘賞を受賞(令和5年2月13日)

(一社)中部地域づくり協会では、定款第3条に定める「国土の利用、整備及び保全並びに災害防止に関する事業の円滑な推進を図り、もって国土の健全な発展に寄与する」ことを目的に公益活動を行っています。

本誌は、令和4年度に行った公益活動の概要をとりまとめたものです。

一般社団法人 中部地域づくり協会は、平成25年4月1日に前身の社団法人 中部建設協会から移行後、令和5年4月1日で10周年を迎えました。

.....

中部地域づくり協会の基本理念

目指すべき姿

地域のみなさまから信頼され挑戦し続ける組織を目指します

中部地方におけるインフラの整備・管理や防災対策等に関して、これまでに蓄積してきた経験・技術・ノウハウを更に進化させ、地域のみなさまから信頼され、選ばれ、必要としていただけるように挑戦し続ける組織を目指します。

行動指針

1. お客様の立場に立って考え行動します。
 2. 現場の視点を大事にして考え行動します。
 3. 新たな視点で積極的にチャレンジします。
 4. 時代や社会の変化に応じ見直すべきは速やかに見直します。
 5. 多様な個性や意欲・能力を伸ばし知恵と力を結集します。
-



一般社団法人 **中部地域づくり協会**



〒460-8575 名古屋市中区丸の内三丁目 5 番10号
(名古屋丸の内ビル8階)

TEL 052-962-9455 FAX 052-950-1178

URL <https://www.ckknet.jp/>